

CONTENTS

- 2 遊んで学ぶ自然教室 親子エコくらぶ
「アダンの葉の風車&シロツメクサの花冠」づくり
- 4 県政フラッシュ
- 6 特集1
5月は自動車税の納期です ほか
- 8 特集2
その問題、ひとりで抱えないで!
- 10 特集3
全島緑化県民運動
- 12 守りたい自然 ~おきなわの彩鳥(いろどり)~
セイタカシギ
- 14 仕事の現場ウォッチング
先生のシゴト(専門学校の講師)
- 16 県のうごき1
知事視察広聴(大宜味村)
- 17 県のうごき2
県政リーダーを紹介します!
- 18 情報ひろば お知らせ
- 20 輝け!わたした島の未来「沖縄元氣プロジェクト」
今帰仁村

沖縄県広報誌「美ら島沖縄」について

*

沖縄県広報誌「美ら島沖縄」は、県の施策や情報をわかりやすく県民のみなさまにお伝える冊子です。公共機関や学校、銀行、病院など多くの方が利用する施設でご覧になることができるほか、沖縄ファミリーマートの店舗で無料配布しています。

本号とバックナンバーは県広報課ホームページでご覧になれます。

沖縄県知事公室広報課
TEL.098-866-2020

<http://www.pref.okinawa.jp/churahome/>



「普段はドングリやお花をよく拾ってくるのですが、それで何かを作る機会がなかったため、親子で玩具づくりができて楽しいですね」とお母さん。同じ作業を根気よく続けると、キレイな花冠の完成です。タンポポも一緒に編み込んで、とても可愛く仕上がりました。



お休みの日は、よく公園に遊びに行くという青田さん親子が訪れた沖縄県総合運動公園は、陸上競技場や体育館、オートキャンプ場など、さまざまな施設があり、自然がいっぱいです。泡瀬の海にも面しているので、海岸植物もたくさん生えています。

見て！見て！
クルクル回っているよ



5月のテーマ★「アダンの葉の風車&シロツメクサの花冠」づくり



身近にある地元の素材を使って昔ながらの遊びに挑戦する「うちな〜流エコ」。お日様や風を感じて、親子で一緒に遊びながら沖縄の豊かな自然を再発見してみよう!

工作大好きな妃依ちゃん(四歳)がチャレンジするのは、アダンの葉で作る風車。アダンは海岸に生えていて高さ三〜六mくらいになり、太い枝を広げ、タコの足のような特徴のある気根を伸ばしています。

葉は長さ一〜一.五mにもなり、縁などに鋭いトゲがあるので、ケガをしないように気をつけます。ナイフが使えない場合は、ステンレス製の万能バサミを使います。ナイフを使うところはお母さんが



春風を受けて回る風車と花冠は、男の子も女の子も楽しめるエコおもちゃ

挑戦しました。葉を曲げる時には、折れないようにゆっくり。「何ができるのかな」と妃依ちゃんも興味津々です。葉の長さを揃えてチョッキン。竹ひごで留め、竹に差しして完成。早速風上に向けてみると…クルクルクルと勢いよく回り始めました。妃依ちゃんのアイデアで風車の真ん中にタンポポを差ししたら、屋比久先生が「もっと素敵になったね」と褒めてくれました。



お母さんと私 お姫様みたいだね

次は広場を真っ白に埋め尽くしているシロツメクサを使って花冠づくり。編みやすいように茎の長いシロツメクサを摘みます。それを一本ずつついでいねいに編んでいきます。お母さんに助けてもらいながら、妃依ちゃんも一生懸命です。



今月の先生
「アquareal企画」
屋比久 壮実さん

琉球大学理学部生物学科卒業。写真家として県内外で活動し続ける傍ら、自然観察会講師として指導にあたり、沖縄の自然を紹介している。著書に「沖縄の自然を楽しむ 海岸植物の本」など多数。
URL: <http://aqua-cp.com>

「アダンの葉の風車」を作ろう!

◇用意するもの◇

アダンの葉(1mくらいのもの)
竹ひごまたは爪楊枝、
竹またはストロー、
ナイフまたは万能バサミ
(ステンレス製)、
ノコギリ



①アダンの葉のトゲを切り落とし、葉脈に沿って2つに切り分ける。



②くぼんでいる側を上にし、2枚の葉を十字に重ねる。



③折り目をつけやすいよう縦の葉をZ形に軽く折り曲げ、その隙間に横の葉を差し込む。形を整えながらゆっくり引っ張る。



④葉の先を切り揃え、真ん中に竹ひごを刺して止める。



⑤竹に刺して完成!

